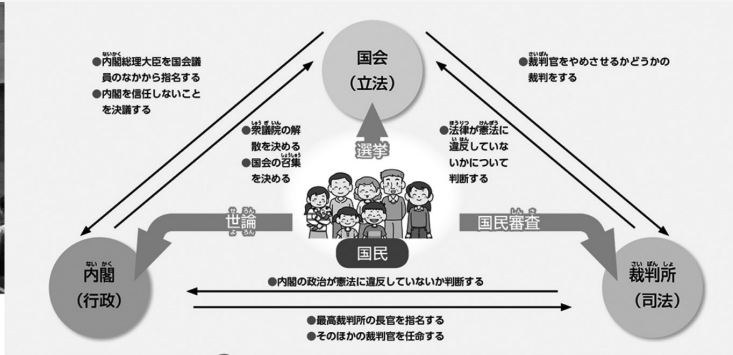


## 【ツールの概要】

※教科によって、一部機能が異なる場合があります。



①最高裁判所のおよび重要な裁判をおこなう15人の裁判官全員による大法廷の様子



③三権分立のおもなしくみ

ゆいさんたちは、国会・内閣・裁判所のそれぞれの関係についてまとめた③の図を見てみることにしました。

国会・内閣・裁判所の三つの機関が、それぞれ仕事を分担して進めるなかで、たがいに確認し合うしくみがあります。それは、国の権力を立法(国会)、行政(内閣)、司法(裁判所)の三つに分け、権力が一つのところに集まることをさける政治のしくみのことです。これを三権分立といい、日本国憲法できちんと定められています。

ゆいさん：国は、三権分立のしくみをもとに、政治を進めているんだね。三つの機関それぞれの役割をうまくはたすことで実現するんだね。

まなぶ：選挙制度や裁判員制度など、国民も積極的に政治のことを考えなければならないんだね。

ゆいさん：国の政治は、国会・内閣・裁判所が仕事を分担して進めているけれど、国民も、選挙や世論、国民審査によって、政治に関わっているといえるね。

学び方・調べ方コーナー  
読み取る  
しくみ図の読み取り方  
確かめる

●何をあらわしている図か確かめる。

見つける

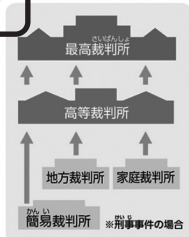
●国会・内閣・裁判所それぞれの仕事を確かめる。

考える

●なぜ、三権分立のしくみが必要か、三権それぞれの立場に立って考える。

三権分立  
三権分立の考え方は、フランスの学者が形にし、その後、アメリカの憲法で最初に実現したとされています。

裁判所は、どんなことをするところなのだろう。



②裁判のしくみ  
裁判の判決に納得できないときは、さらに上級の裁判所にうたえることができます。これは、裁判をより慎重におこなって、判決にまちがいがないようにし、国民の人権を守るためのしくみです。これを三審制といいます。

裁判所のはたらき  
ゆいさんたちは、裁判所のはたらきについて調べることにしました。

わたしたちの住む社会では、さまざまな争いごとや犯罪がおこっていますが、憲法や法律にもとづいてそれらを解決したり、罪のあるなしを決めたりするのが裁判所です。また、国会が決めた法律や、内閣がおこなう政治が憲法に違反していないかについても判断します。また、だれでも公正な裁判を受ける権利もっています。

2009(平成21)年5月からは、国民が裁判員として裁判に参加する、裁判員制度がはじまりました。長いあいだ、専門家に任されていた裁判に、国民の感覚を取り入れ、国民の裁判に対する理解と信頼を深めるための制度です。裁判の時間を短くすることもこの制度のねらいの一つです。

地方裁判所の人の話  
裁判員による裁判とは、殺人・放火などの重大な事件について、地方裁判所でおこなわれる最初の裁判に国民が参加する制度です。裁判員になった人からは、「裁くことは決して気持ちのよいことではありませんでしたが、裁判を通して、社会に対してこれか何をおこなっていったらよいのだろうかということを考える機会になりました。」という意見も聞かれました。



ページめくり

ページ移動

ページめくり

※機器の種類、OSなどにより、一部仕様が異なる場合があります。

2 **「まなぶ」**  
タイマーや年表の表示、自動筆算ツールなど、「まなぶ」教材固有のツールを表示します。  
(内容は教科・商品によって異なり、実装されていない場合があります。)

3 **「どうぐ」**

【せんたく】  
ボタンのクリック、リンクの選択、ふせんをめくる、線／もじ／図形／画像などの選択や移動などに使います。

【ペン】  
紙面などに書き込むペン(フリーハンド)です。下記の画面から色や半透明、太さを変更できます。



【ふせん】  
ふせんやテキストボックスを作成します。ふせんの色や種類、テキストのフォント、サイズなどが設定できます。



【わく】  
四角を描く際に利用します。面や線の色を変更することができます。「えん」「さんかく」も同様です。

【せん】  
直線を描く際に利用します。線の色、太さ、種類などを変更することができます。

【スタンプ】  
画面にスタンプを押します。スタンプの種類は教科によって異なります。

【おわる】  
まなビューアを終了します。

※本棚に戻る場合は、「もくじ」に移動し、「本棚」ボタンをクリックして下さい。

【きく】  
機械音声を再生します。詳細は、裏面をご参照下さい。

【ほんぶん】  
リフロー表示をします。詳細は、裏面をご参照下さい。

【おおきく】  
画面を拡大・縮小できます。

【はる】  
端末に保存した画像をデジタル教科書・教材に貼ることができます。

【スクロール】  
スクロールによってページを送ることができます。

【サポート】  
ビューアの設定を変更できます。詳細は裏面をご参照下さい。

【せんがめん】  
画面を全画面表示にできます。

【ジャンプ】  
ページを指定して移動することができます。

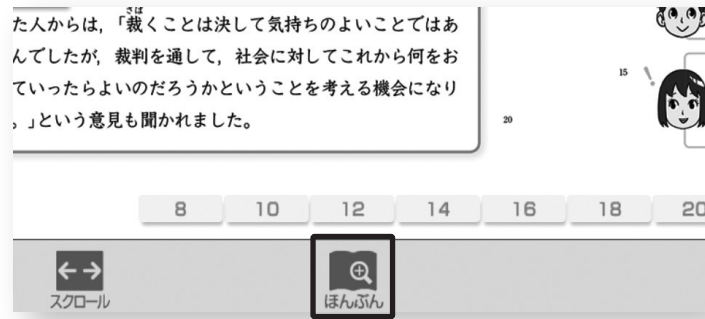
## 【サポートツール概要】

まなビューアではアクセシビリティを重視した機能をご利用いただけます。

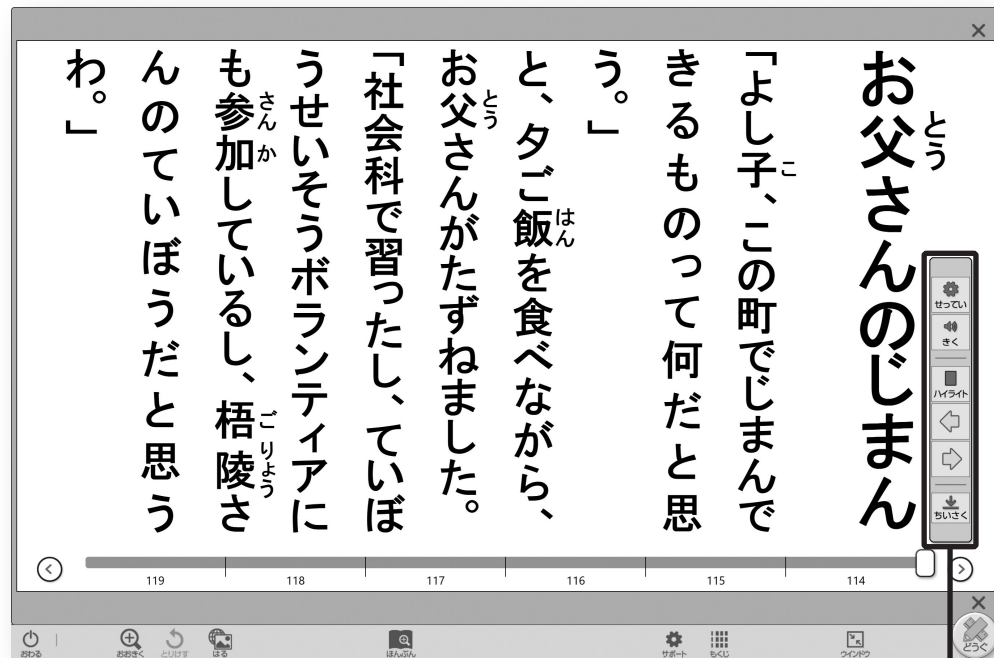
### ●リフロー

ツールバーの「ほんぶん」ボタンをクリックすると表示している単元の本文がリフローの形式で表示されます。

※実装されていない教科もあります。



### 【リフロー画面】



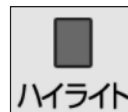
【せってい】

リフローの画面での表示方法を設定します。書体(色・大きさ)や背景色なども変更できます。



【きく】

機械音声読み上げの際の設定をします。読み上げる速さや読み上げる場所を指定することもできます。



【ハイライト】

指定された範囲が色付きで強調されます。

### ●機械音声読み上げ

見開き表示・リフロー表示の画面では、「きく」ボタンを押す、機械音声で文章を再生することが可能です。見開き表示画面での機械音声読み上げの設定については、下記をご参照ください。

※通信環境によっては、「きく」のメニュー画面が表示されるまでに時間がかかったりエラー表示となったりする場合があります。



「きく」ボタンを押すと機械音声の設定ツールが表示されます。



【ここをよむ】

このボタンを押す、読ませたい文節をクリックすると、選択した文節のみ再生されます。



【はやす】

機械音声の読み上げる速さを変更できます。



【ここからよむ】

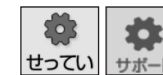
このボタンを押す、読み始める文節を選択すると、文章の最後まで再生されます。



【かんかく】

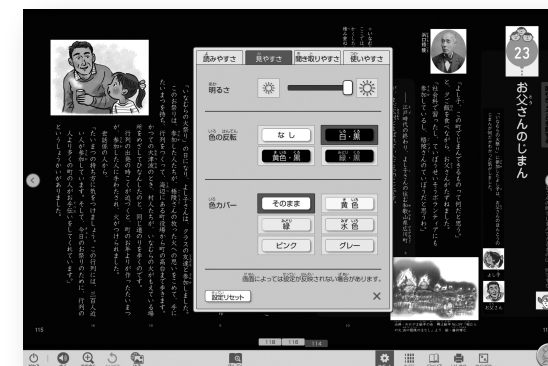
「あり」に設定すると文節ごとに間隔をあけて読み上げます。

### ●その他のサポート機能



「せってい」「サポート」のボタンから「色の反転」や「ふりがな」の設定ができます。他にも、文字の大きさや機械音声の速さの変更など、学習者に合わせた変更が可能です。

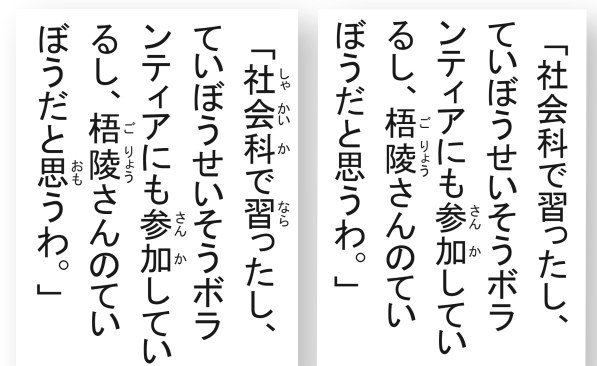
#### ○色の反転など



#### 色反転の画面

サポートボタンから背景色と文字の色を反転させて文章を見やすくできます。リフロー表示の場合は、設定で文字・背景・ふりがなの色を指定することができます。

#### ○ふりがな



#### ふりがなあり

#### ふりがななし